

第 37 回 (平成 28 年度) 薬学研究奨励財団 研究助成金および国際学術交流補助金受領者

I 研究助成金

1 グループ A (1 件 100 万円、10 件、総額 1,000 万円)

- 「Epstein-Barr-Virus 感染癌細胞における microRNA を介した癌転移機構の解明」
(慶應義塾大学・薬学部・助教) 秋好 健志
- 「肝障害時における分子標的薬イマチニブの消化管吸収変動メカニズムの解明」
(金沢大学・医薬保健研究域薬学系・助教) 荒川 大
- 「コバルトヒドリドを活性種とするオレフィンのヒドロ官能基化反応における
網羅的不斉化検討」
(武蔵野大学・薬学部・講師) 重久 浩樹
- 「脳梗塞急性期におけるコンドロイチン硫酸損傷機構の解明」
(千葉大学大学院・薬学系研究院・助教) 東 恭平
- 「不均一系ロジウム触媒を用いた酸素酸化反応による環境調和型分子変換法の開発」
(徳島文理大学・薬学部・講師) 松本 健司
- 「網膜における神経-グリア-血管連関を創薬ターゲットとした
緑内障治療薬開発の新機軸」
(北里大学・薬学部・助教) 森 麻美
- 「生理活性天然物合成を指向した戦略的金触媒利用による複素環化合物の合成」
(昭和薬科大学・准教授) 森田 延嘉
- 「T型カルシウムチャネルを標的とした統合失調症認知機能障害改善薬の基礎研究」
(東北大学大学院・薬学系研究科・助教) 矢吹 悌
- 「B 型肝炎ウイルスの感染能獲得機構の解明」
(慶應義塾大学・薬学部・助教) 横川真梨子
- 「バイオ医薬品の非侵襲性投与を可能とする次世代型吸収促進剤の開発」
(大阪大学大学院・薬学系研究科・助教) 渡利 彰浩
(応募件数 144 件)

2 グループ B (1 件 80 万円以内、9 件、総額 640 万円)

- 「抗リウマチ薬による二次発がんリスクの検討-有害事象自発報告データベースを
用いて-」
(大阪市立大学医学部附属病院・薬剤部・薬剤師) 冢瀬 諒
- 「トロンボモジュリン- α の抗炎症作用とその個体差要因の解明：
敗血症性 DIC 治療への応用」
(三重大学医学部附属病院・薬剤師) 榎屋 友幸
- 「定量 TLC を用いた生薬シンの経時的变化を示す成分の解明」
(東京理科大学・薬学部・嘱託助教) 大嶋 直浩
- 「妊婦の向精神薬使用と児の奇形との関連の解明」
(東北大学病院・薬剤部・准教授) 小原 拓
- 「難吸収性医薬品の経口製剤開発を支援する膜透過性ペプチドキャリアの
応用性予測システムの構築」
(神戸学院大学・薬学部・助教) 亀井 敬泰
- 「腎がん治療薬パゾパニブの薬物動態およびファーマコゲノミクス解析に基づく
個別化薬物療法の確立」
(滋賀医科大学医学部附属病院・薬剤師) 野田 哲史

「PK/PD/PD_x解析によるトルバプタンの最適投与法の構築」

(静岡県立大学・薬学部・助教) 平井 啓太

「薬局と大学が連携した認知症早期発見に向けた新たな取り組みに関する検討」

(兵庫医療大学・薬学部・助教) 村上 雅裕

「ポリコナゾールの主代謝物 N オキシド体の曝露による皮膚障害リスク上昇に着目した至適投与法の確立」

(浜松医科大学医学部附属病院・薬剤部・薬剤主任) 山田 尚広
(応募件数 47 件)

II 国際学術交流補助金

1 研究者の海外派遣補助金 (1 件 30 万円、2 件、総額 60 万円)

「第 6 回 FIP 世界薬学会議 2017」

2017. 5. 21～24 スウェーデン スtockホルム

(明治薬科大学・助教) 井上 元基

「第 6 回 FIP 世界薬学会議 2017」

2017. 5. 21～24 スウェーデン スtockホルム

(東京薬科大学・薬学部・講師) 金沢 貴憲
(応募件数 2 件)

以上